

備中神楽の神歌および口上の現代英語訳 2 (「大国主命の舞」「大蛇退治」)
(An English Translation of the Divine Poems and Dialogues of *Ookuninushinomikoto-no-mai* and
Orochitaiji in Bichu Kagura)

山内 圭¹⁾*

1) 新見公立大学健康科学部地域福祉学科
(2023年9月20日受付、11月15日受理)

新見公立大学健康科学部地域福祉学科では、前身の新見公立短期大学地域福祉学科が1996年に開設以来、新見地域に伝わる地域文化である備中神楽を、短期大学時代には「地域文化演習」、4年制大学になってからは「地域文化実習」という名称の授業科目の一部として取り入れ、地域の神楽社より非常勤講師を招き、学生に対して指導をしてもらっている。2020(令和2)年度から4年制大学としての「地域文化実習」が始まるにあたり、専任教員で英語を専門とする筆者が科目コーディネーターとなった。毎年度学生たちは身に付けた備中神楽を地域文化実習発表会の場で披露しているが、2020(令和2)~2021(令和3)年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の懸念から、地域在住の外国出身者に対しては地域文化実習発表会の案内はできなかった。しかしながら、同発表会は地域住民に対して学生たちが学んできたことを披露する場であるとともに、地域に住む外国出身者に日本文化を紹介するための機会ともなり得る。この度、本学の地域文化実習の非常勤講師であり備中神楽の唐松社の池田利文先生が文書化した演目ごとの神歌および口上¹⁾について、池田先生から英語への翻訳の許可をいただき、ここに紹介する。

なお、翻訳にあたっては現代人に理解しやすい英文とすることを目的としており、原文の雰囲気や忠実に再現することは今回の翻訳の目的ではないことをお断りしておく。

(キーワード) 神楽 (*Kagura*)、備中神楽 (*Bichu Kagura*)、「大国主命の舞」(*Ookuninushinomikoto-no-mai*)、「大蛇退治」(*Orochitaiji*)、地域文化実習 (*Local Culture Practice*)

1. はじめに

新見公立大学のある新見地域及びその周辺は備中地方と呼ばれ、この備中地方には地方内の各地に伝わり親しまれる備中神楽がある。備中神楽は、そもそも五穀豊穡と家内安全を祈るために行われたもので、かつては秋祭りの一大行事として夜を徹して舞われた庶民の郷土芸能である。その起源は、神々が出雲大社に集結するため各地の神が不在となる神無月(10月)において、荒神の魂を鎮めるために行われたところにあるようである。1979年2月3日には、国指定の重要無形民俗文化財となっている。備中神楽の物語の内容は、古事記および日本書紀が元になっている。

この度は、福德円満の神である大国主命を主役とする「大国主命の舞」と、五七五七七の和歌の音数を持つ「神歌」があり、勇壮な素戔嗚の尊が大蛇を退治する「大蛇退治」を英語に翻訳することとした。

1) 大国主命の舞 (おおくにぬしのみことのまい)
Ookuninushinomikoto-no-mai Performance

幕内 (Backstage)

大国主命「天(あめ)の下(した)ー 国(くに)をかれ
と かんながらー ひろす御国(みくに)はー
大八州国(おおやしまぐに)ー

*Ookuninushinomikoto: Under the sun, I am the God
ruling the country, which is large, consisting
of eight big islands.*

一畳の舞 (Act 1)

大国主命「さって、この所(ところ)に舞(ま)い出(い)
だす神(かみ)は、如何(いか)なる神(かみ)
やと思(おも)うらんー そうもこれなるは、出
雲(いずも)の国(くに)の主(あるじ)、大
国主命(おおくにぬしのみこと)にて候(そう
ろ)ー」

*Ookuninushinomikoto: Well, what god do you think
appears now? Yes, I am the very
Ookuninushinomikoto, who is the Lord of
Izumo Country.*

*連絡先: 山内 圭 新見公立大学健康科学部地域福祉学科 718-8585 新見市西方1263-2

「我（わ）一れ、国家経営（こっかけいはい）を
なさんが為（ため）、背中（せなか）には万福
袋（まんぼぶくろ）背負（せお）うたり、まっ
た我（われ）に尊信（そんしん）奉（たてま
つ）る輩（ことがら）ある時（とき）は、衣服
（いふく）幸（さいわ）いを授（さず）くるな
り、まった我（われ）にしたがわない者（も
の）ある時（とき）は、この平鉾（ひらほこ）の
宝剣（りょうけん）の威徳（いとく）を持（も）
って打鎮（うちしず）め、泰平無事（たいへい
ぶじ）なる出雲（いずも）の国（くに）と治（お
さ）めばやとぞんじ候（そうろ）ー」

In order to govern the country, I carry the
Bag of Fortune on my back. If anybody
respects me, I shall give them happiness. If
there is someone who does not obey me, I
shall silence him with the dignity and virtue
of my sacred sword and keep the Izumo
Country safe and peaceful.

太鼓 「さって、国津神（くにつかみ）には、今回（こ
んかい）はいづくへ御同行（ごどうぎょう）あ
そばされ候（そうろ）かな。」

How do you do, Governing God, where are
you heading today?

大国主命 「されば候ー これより、豊葦原中津国（とよあ
しはらなかつくに）のかまど巡りいたさばや
とぞんじ候ー」

I am going to visit kitchen gods in
Toyoashihara Nakatsu Country.

太鼓 「急（いそ）ぎたまえやなー」

Are you in a hurry?

大国主命 「はやしたまえやなー」

Yes, I am in a hurry.

二畳（にじょう）の舞（まい）（Act 2）

大国主命 「急（いそ）ぎようやく 豊葦原中津国（とよあ
しはらなかつくに）のかまどを巡（めぐ）りい
たし見（み）れば、神のかまどの煙（けむり）も
にぎわしく、かほどめでたき氏子（うぶこ）に
福（ふく）の種（たね）を授（さず）けばやと
ぞんじ候ー」

As I visited kitchen gods in Toyoashihara
Nakatsu Country and see the prosperity of
the divine country, I shall give all of you

seeds of fortune.

「大国（だいく）がー 万福袋（まんぼぶくろ）
の紐（ひも）といてー 多（おお）くの氏子
（うぶこ）にー 福（ふく）を 授（さず）け
んー」

I'm Daikoku, and I shall open my Bag of
Fortune and give many of you seeds of
fortune.

太鼓詞（たいこうた）（Drummer Sings）

播（ま）こうやー 播（ま）こうやー 福（ふ
く）の種（たね）播（ま）こうやー

Shall we sow, shall we sow, shall we sow the
seeds of fortune?

かより東方（とうほう）は 甲（きのえ）乙（き
のと）の大小神祇（だいしょうじんぎ）の 神
（かみ）の御前（みまえ）を 清（きよ）め申
（もう）して 播（ま）こうやー 播（ま）こうやー 福
（ふく）の種（たね）播（ま）こうやー

All the Gods in the East, East-north-east to
East-south-east, purify, sow, sow and sow the
seeds of fortune.

さってまた南方（なんぼう）は丙（ひのえ）丁
（ひのと）の大小神祇（だいしょうじんぎ）の
神（かみ）御前（みまえ）を 清（きよ）め申
（もう）して 播（ま）こうやー 播（ま）こうやー 福
（ふく）の種（たね）播（ま）こうやー

All the Gods in the South, South-south-east to
South-south-west, purify, sow, sow and sow
the seeds of fortune.

さってまた西方（さいほう）は庚（かのえ）辛
（かのと）の大小神祇（だいしょうじんぎ）の
神（かみ）の御前（みまえ）を 清（きよ）め
申（もう）して 播（ま）こうやー 播（ま）こうやー 福
（ふく）の種（たね）播（ま）こうやー

All the Gods in the West, West-south-west to
West-north-west, purify, sow, sow and sow
the seeds of fortune.

さってまた北方（ほっぽう）は壬（みずのえ）
癸（みずのと）の大小神祇（だいしょうじんぎ）
の 神（かみ）の御前（みまえ）を 清（きよ）
め申（もう）して 播（ま）こうやー 播（ま）こうやー
福（ふく）の種（たね）播（ま）こうやー

All the Gods in the North, North-north-west
to North-north-east, purify, sow, sow and sow

the seeds of fortune.

さってまた中央(ちゅうおう)は戊(つちのえ)己(つちのと)の大小神祇(だいしょうじんぎ)の神(かみ)の御前(みまえ)を清(きよ)め申(もう)して播(ま)こうやー播(ま)こうやー福(ふく)の種(たね)播(ま)こうやー
All the Gods in the Center and all the other directions, purify, sow, sow and sow the seeds of fortune.

「さってまた、神前(しんぜん)に福(ふく)の種(たね)を供(そな)える。次(つぎ)に宮司(ぐうじ)に福(ふく)の種(たね)を授(さ)ずける。次(つぎ)に、大当番(だいとうばん)に福(ふく)の種(たね)を授(さ)ずける。さってまた、集(あつ)まる氏子(うぶこ)に福(ふく)の種(たね)を授(さ)ずける。」
Offer the seeds of fortune to the Gods, then give the seeds of fortune to the priests, then give the seeds of fortune to the duty parishioners, then give the seeds of fortune to all the parishioners here.

餅投(もちな)げ (Scattering rice cake or the like)

2) 素戔嗚(すさのお)の尊(みこと)の山懸(やまが)かり、大蛇退治(おろちたいじ) (Susano no Mikoto's Extermination of a monster serpent)

素戔嗚の尊(神歌)「風、嵐ー音(おと)も激(はげ)しく聞こゆればー今こそー大蛇気負(いきお)いなすかやー」

Susano no Mikoto (divine poem) : Wind and storm, roaring violently out loud, the monster serpent becomes vigorous.

太鼓 「トーロトーロや、トーロトーロと大蛇(おろち)が出(で)たぞや、トーロトーロや、トーロトーロとドグロを巻いたぞ、トーロトーロや、トーロトーロとお酒が出たぞや、トーロトーロや、トーロトーロと毒酒と知らずにお酒を飲んだぞ、トーロトーロや、トーロトーロと酔いが回って、酔ってきたぞや、

トーロトーロや、トーロトーロとあくびが出たぞや、トーロトーロや、トーロトーロと眠くなったぞ」

Drummer: Wriggle, wriggle, wriggle, wriggle, the serpent appears
Wriggle, wriggle, wriggle, wriggle and coiling up
Wriggle, wriggle, wriggle, wriggle and here comes a sake barrel.
Wriggle, wriggle, wriggle, wriggle, drink the very strong sake
Wriggle, wriggle, wriggle, wriggle, getting drunk
Wriggle, wriggle, wriggle, wriggle, giving a big yawn
Wriggle, wriggle, wriggle, wriggle, becoming sleepy

素戔嗚の尊(神歌)「奇稲田姫ー大蛇(おろち)の口をー逃れたりーその謀略(たばかり)かー酒ぞかしこしー」

Susano no Mikoto (divine poem) : Kushinada hime, I have escaped the serpentine mouth with my smart tactics with sake.

「大蛇退治いたし見れば、一刀の宝剣現れたり、これ姉天照皇大神宮(てんしょうこうたいじんぐう)の内緒所へ納めばやとぞんじ候ーしからば一曲つかって、都へと急がばやとぞんじ候ー」

I have exterminated the monster serpent with the sacred sword. I shall offer this sacred sword to the secret place of Tensho Kotai Jingu Shrine.

Then I shall hurry to the palace with my skill.

舞い上げ (final dance)

「あら、めでたいな！ 祇園三社といつき祀りて、堅盤(かきわ)、常盤(ときわ)の、松の葉色の変わらぬ御世こそかーめでたかりけりー」

How auspicious! I will enshrine the sword to Three Gion Shrines and other shrines for ever and ever like evergreen leaves of pine trees in those shrines. How blissful!

注

- 1) 神楽の演目ごとの口上および神歌は、地域および神楽社によってさまざまなバリエーションがある。ここに紹介したものは、時間数が限られた中で学生に教えるための簡略版であることをお断りしておく。

文献

- 神崎宣武『備中神楽の研究—歌と語りから—』岡山県美星町教育委員会, 1984.
- 澤座博志（編）『備中神楽考』奥備中地域伝承文化備中神楽資料保存委員会上市実行委員会, 2005.
- 逸見芳春『神楽絵巻』備北民報株式会社, 2000.

An English Translation of the Divine Poems and Dialogues of *Ookuninushinomikoto-no-mai* and *Orochitaiji* in *Bichu Kagura*

Kiyoshi YAMAUCHI

Summary

This is an English translation of the divine poems and dialogues of *Ookuninushinomikoto-no-mai* and *Orochitaiji* in *Bichu Kagura*. In the class of Local Culture Practice of the Department of Community Welfare at Niimi University, students are taught to perform *Kagura* with these simplified versions by Toshifumi Ikeda, part-time lecturer and instructor of *Karamatsu-sha* Company of *Bichu Kagura*.

Keywords: *Kagura*, *Bichu Kagura*, *Ookuninushinomikoto-no-mai*, *Orochitaiji*, Local Culture Practice